

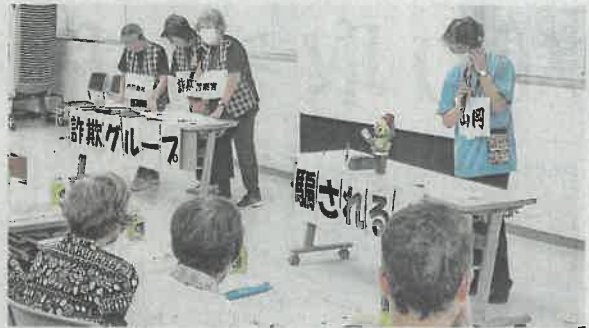
特殊詐欺手口 寸劇で再現

磐田市加茂のJA遠州中央園芸流通センターで16日、同JA女性部員を対象に、特殊詐欺被害防止に向けたセミナーが開かれた。磐田署管内地域安全推進員女性部の有志「磐田防犯レディース」が、多発している手口を紹介する寸劇を披露し、注意を呼びかけた。

推進員7人が実際に起きた三つのケースで詐欺グループと被害者役を務めた。警察官をかたる手口については、市内の女性が電話で

被害防止へ 磐田で講座

自分名義の携帯電話が詐欺に使われたと言われ、口座が悪用されていないか調べるとして現金の振り込みを要求される流れを演じた。キャッシュカードをすり替えられたり、ウイルスに感染したパソコ



寸劇で特殊詐欺の手口を紹介する「磐田防犯レディース」
Ⅱ 磐田市加茂のJA遠州中央園芸流通センター

ンの修理名目で電子ギフトカードの購入を求められたりする手口も紹介した。

署員は「国際電話でかかってくる手口が多い」として、国際電話の利用休止を勧めた。

児童の下校安全に 見守り活動 浜名区で三ケ日LC 45周年企画



山田さん(右)と山口署長に見送られ、
出発するパトロール車両

＝浜松市浜名区三ケ日町

浜松市浜名区三ケ日町の三ケ日ライオンズクラブ(鈴木美千夫会長)は16日、児童の下校時間帯に合わせ、町内のパトロールを行った。3月に実施した同区細江町の春の風物詩「姫様道中」の姫様役で、細江署安全安心広報大使の山田奈津美さん(23)や署員と児童の下校を見守った。会員は同町で出発式を行った後、自家用車に「子供を導く安全見守り活動中」と書かれたシートを貼付。山田さんと同署の山口剛志署長に見送られて三ケ日西小へ。校内で児童に安全な下校を呼びかけ、町内のパトロールに向かった。

同クラブが設立45周年を機に子どもの見守り活動を行おうと企画した。会員は今後、児童の登下校時間帯に合わせ町内をパトロールするという。鈴木会長は「気楽に、気長に、無理なく活動が続けたい。子どもが犯罪被害に遭わないよう一助になれば」と話した。

手縫い雑巾 福祉施設に寄贈 掛川市勤労者協



高橋施設長(右)に手縫い雑巾を寄贈する
笹本事務局長(左)
Ⅱ 掛川市上西郷の掛川福祉ノ郷

掛川市勤労者協議会は16日、福祉施設への支援活動として、特別養護老人ホーム掛川福祉ノ郷(同市上西郷)と「えいせい掛川介護老人保健施設」(同)に手縫い雑巾をそれぞれ150枚寄贈した。掛川福祉ノ郷には同協議会の笹本義雄事務局長らが訪れ、同協議会の役員がタオルで作った雑巾を高橋幹也施設長に手渡した。笹本事務局長らは「掃除などに活用してもらえれば」と話し、高橋施設長は「個室が120室もあるのでありがたい。有効に使わせていただく」と感謝した。同協議会は2010年から毎年、市内の高齢者施設に雑巾の寄贈を続け、贈り先は計28施設になった。